

臨床検査部

1. スタッフ

部長（兼）病院教授 日高 洋

その他、副部長1名、病院教授1名、講師1名、医員1名、医療技術助手1名、看護技術補佐員6名、事務補佐員2名（兼任を含む）。医療技術部検査部門スタッフについては、医療技術部の頁を参照のこと。）

2. 活動内容

(1) 国際認定 ISO 15189 に基づいた検査体制：

ISO 15189 の要件に従った品質マネジメントシステムを構築し、臨床検査の国際的な精度保証のもと本院の診療体制に日々貢献している。

令和元年度は ISO 15189 認定後初めての更新審査を受審し認定を継続している。

(2) 検査実施項目の充実：

IgA-HEV 抗体（定性）、先天性銅代謝異常症（ウィルソン病）、白血病キメラ遺伝子などの 51 項目を新規外部委託検査に追加した。

(3) 院内多職種連携チームでの活動：

ICT や NST の院内多職種連携チームに参加して日常診療に貢献している。

3. 活動体制

当部では、検体・システム管理部門4名、血液一般検査部門15名、臨床化学検査部門15名、感染症免疫検査部門16名、生理検査部門19名の5部門と高度救命センター1名及び感染制御部1名の医療技術部所属の臨床検査技師と技能補佐員が検査業務を実施するとともに、臨床検査部所属の看護師及び未来医療センター所属の看護師と共同で外来採血を実施している。

検査項目の多くは、迅速な結果報告が可能であり、緊急検査、外来診察前検査に対応している。絶えず新測定装置の導入を見据えた運営を行っている。また、土日祝並びに夜間緊急検査は24時間体制で実施している。

専任の教員は、診療各科からの要望への対応、外来患者の臨床検査に関する問い合わせへの対応など、当部の運営全般に携わっている。

兼任の教員・医員及び関係各科の医師が心臓超音波

検査、エルゴ負荷心電図、筋電図検査、骨髄検査などを担当している。

4. 活動実績

(1) 次頁に平成29年度～令和元年度に実施した過去3年間の主要区分別検査件数の推移を示すが、年々増加傾向を示している。

(2) 感染症検診等は以下のとおり。

職員感染症検診（測定件数・測定項目）：全職員を対象にHBs 抗原、HBs 抗体、ムンプス IgG、水痘 IgG を実施（2,234 件）、新規・中途採用職員についてはHBs 抗原、HBs 抗体、HCV 抗体、HIV スクリーニング、麻疹 IgG、風疹 IgG、水痘 IgG、ムンプス IgG の各検査を572件実施、体液暴露関連検査は87件、アウトブレイク対策検査として感染症検査23検体及び遺伝子検査31検体を実施。

5. その他

2名が日本臨床検査医学会臨床検査専門医であり、本院は日本臨床検査医学会認定病院である。また、認定臨床微生物検査技師認定制度研修施設や認定骨髄検査技師認定制度研修施設にも指定されている。

臨床検査技師は精力的に研究活動、技術向上に努めており、博士8名、修士22名、Infection Control Doctor 2名、感染制御臨床微生物検査技師6名、認定臨床微生物検査技師6名、骨髄検査技師1名、血管診療技師1名、日本心エコー図学会認定専門技師1名、超音波検査士（循環器3名、消化器3名、体表臓器2名、泌尿器2名、血管1名、健診1名）、認定血液検査技師7名、認定一般検査技師2名、認定臨床化学者1名、NST 専門療法士1名、二級臨床検査士（微生物学4名、血液学3名、循環生理学1名、臨床化学2名）、緊急臨床検査士3名、消化器内視鏡技師・未病専門指導師・医用質量分析認定士・健康食品管理士各1名などの学位・資格を取得している。

令和元年度中に施行した倫理委員会で承認された臨床研究は9件。

過去3年間の検査件数

